

モーツァルト作曲 ミサ・ブレヴィス ハ長調 K. 220(196b) 『雀のミサ』

この作品は Hosanna に出てくる印象的な音型から「雀のミサ」と呼ばれて親しまれています。また、楽器編成や演奏時間がコンパクトなもの「雀」と呼びたくなる要因の一つなのかもしれません。

しかしながら、全楽章を通して華やかで生命力に溢れており、ホモフォニックで力強く言葉を表現する音楽は、「雀」という言葉の印象とは少し異なるかもしれません。モーツァルトの宗教音楽の中ではあまり演奏機会に恵まれている作品ではありませんが、隠れた名曲の一つだと感じています。品がありつつもみずみずしくエネルギッシュなモーツァルトをお届けできたらと思います。



指揮: 玉山 彰彦

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。J.S.バッハ『ミサ曲短調』『ヨハネ受難曲』『マタイ受難曲』、教会カンタータなどの他、モーツァルト・フォーレ・デュルフレ『レクイエム』、シュッツ『音楽による葬送』などのソリストを務める。オペラではプッチーニ『トスカ』アンジェロッティ役、他にも FF6ピクセルリマスター版でラルスの歌唱を担当するなど活動は多岐にわたる。声楽を小原一穂、佐々木正利、渡辺健一、Nicola Rossi Giordano、Ildebrando D'Arcangelo、萩原潤の各氏に師事。洗足学園音楽大学演奏補助要員。

ラター作曲 Te Deum / 佐藤眞作曲 組曲「土の歌」より

今回は「土の歌」より3曲を演奏いたします。終曲の「大地讃頌」が有名なこの組曲ですが「農夫と土」では大地への感謝と労働の尊さ、「祖国の土」で歌われる祖国を愛し人を愛する心、そして「死の灰」では大切な大地を汚してしまった人類の罪を、戦後80年、そして日本被団協のノーベル平和賞受賞に想いをよせて演奏いたします。続けて演奏するのは、1988年に作曲されたラターの「テ・デウム」。クラシック音楽の様式に沿いつつ、合唱音楽の新しい響きや可能性を感じる、円熟期に入った作曲者の魅力が詰まった華やかな作品です。



指揮: 渡部 智也

福島県会津若松市出身。国立音楽大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。モスクワ音楽院研究科にてロシア音楽を研修する。第2回ロシア声楽コンクール第1位。演奏活動とともに自らの合唱経験を生かし、合唱指導者として活動。指揮者として2018年1月ニューヨークにてクィーンズボロ・オーケストラと日本とニューヨークの合唱団による、東日本大震災当時を綴った『つぶてソング』を指揮。指揮法を永井宏氏に師事。桐朋学園大学、会津大学短期大学各非常勤講師。日本ロシア音楽家協会、二期会各会員。

< 渡部智也演奏会出演情報 <http://tomoyabass.exblog.jp/> >

木下牧子作曲 木島始訳詞「ファンタジア」より 西村朗作曲 与謝野晶子「みだれ髪」短歌より「花紅」

与謝野晶子の短歌「みだれ髪」は、まだ封建時代の風習が色濃く残る明治初頭にあつて、一人の男性への愛をとおして激しいばかりの目覚めを知り、新時代へのあしがけとなる作品である。それを西村朗のみずみずしい才能が光輝く合唱曲につくり上げた。作曲界の偉業であろう。

木下牧子の「ファンタジー」は彼女ならではのお洒落な気品で私たちの心を癒してくれる。いずれにしろ指揮者のセンスが問われているのである。



指揮: 郡司 博

指揮を山田一雄、ハンス・レーヴライン両氏に師事。合唱指揮者として内外一級の指揮者と国内外で共演しその指導力は高く評価されている。バッハを中心とするオラトリオ指揮者としても活躍。ザルツブルグ大聖堂より5回にわたり指揮者として招聘された。ダブリンにて『メサイア』の指揮、ソウルナショナルアーツセンターにて『第九』を指揮し絶賛を浴びた。合唱音楽の素晴らしさを伝え続け、今年で合唱指揮生活58年となる。



ピアノ: 前田 奈央

東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学院音楽研究科音楽文化学ソルフェージュ専攻修士課程修了。JOC シティコンサート千葉、新潟、東京で自作曲を演奏。ピティナコンペティション連弾上級全国大会出場。

日本ソルフェージュ研究協議会主催の第15回 研究発表会にて、「調性と無調のはざまにおける演奏解釈～アルバム・ベルク《7つの初期の歌曲》から～」の研究発表を行う。



ピアノ: 小林 牧子

武蔵野音楽大学卒業。ピアノを水本雄三氏に師事。スロバキアフィル、新日本フィル、東響、東フィル、都響、東京シティフィル、オラトリオ・シンフォニカ JAPAN、アンサンブル of トウキョウと共演。チョン・ミョンフン、G.ベルティーニ、E.インバルなどの指揮者のピアノ伴奏を務めた。昨年の日歌コンサートでの三善晃作品のピアノ演奏も絶賛された。

予告

ヘンデル『メサイア』

12月14日(日)ルネこだいら大ホール
指揮: 郡司博
月曜(都内)・水曜(立川)夜に月2回練習
指導: 玉山彰彦、小河佑樹
他に金曜午後、週末小平での練習もあり

ブリテン『戦争レクイエム』

2026年2月23日(月・祝)
新宿文化センター
指揮: 右近大次郎
月曜(都内午後)・木曜(都内夜)金曜(立川午前午後)に練習

郡司博が愛した日本の曲

11月 いずみホール(予定)
指揮: 郡司博 混声及び女声合唱にて
廣瀬量平「海鳥の詩」、高田三郎「水のいのち」、上田真樹「あらしのよるに」他
日曜午後または夜など(月2回程度)